

(4) シンガポール

① 昭和 5 5 年度技術協力実績及び昭和 5 6 年度計画

	55年度実績	56年度計画	備考																								
1. 専門家派遣事業	継続4人, 新規40人	継続7人, 新規26人 (延長3人)																									
2. 研修員受入事業	98人(集団76人, 個別17人) (国際機関2人)	184人(集団86人, 個別48人) 単発7人, C.P41人																									
3. プロジェクト方式技術協力 (センター協力)事業	<table border="1"> <tr> <td>専門家</td> <td>調査団</td> <td>機材供与</td> </tr> <tr> <td>3人</td> <td>—</td> <td>14,015千円</td> </tr> <tr> <td>(1) 日・シ訓練センター</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 日・シソフトウェア技術研修センター</td> <td>実施協議</td> <td>—</td> </tr> </table>	専門家	調査団	機材供与	3人	—	14,015千円	(1) 日・シ訓練センター			(2) 日・シソフトウェア技術研修センター	実施協議	—	<table border="1"> <tr> <td>専門家</td> <td>調査団</td> <td>機材供与</td> </tr> <tr> <td>17人</td> <td>—</td> <td>7,600千円</td> </tr> <tr> <td>(1) 日・シ訓練センター</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 日・シソフトウェア技術研修センター</td> <td>計画打合せ</td> <td>171,000</td> </tr> </table>	専門家	調査団	機材供与	17人	—	7,600千円	(1) 日・シ訓練センター			(2) 日・シソフトウェア技術研修センター	計画打合せ	171,000	
専門家	調査団	機材供与																									
3人	—	14,015千円																									
(1) 日・シ訓練センター																											
(2) 日・シソフトウェア技術研修センター	実施協議	—																									
専門家	調査団	機材供与																									
17人	—	7,600千円																									
(1) 日・シ訓練センター																											
(2) 日・シソフトウェア技術研修センター	計画打合せ	171,000																									
4. 海外開発計画調査事業	1件 石炭火力発電所, 一貫製鉄所設立環境影響調査	1件 同左(継続)																									

② プロジェクト方式技術協力概要表（シンガポール）

プロジェクト方式

技術協力概要表

担当部課 社会開発協力部海外センター課 (56・8・5作成)

1. 概況									
国名: シンガポール	プロジェクト番号: 予算区分: ㊟, 医, 人, 農, 産								
プロジェクト名	(和文) 日本シンガポール訓練センター (英文) The Japan-Singapore Training Center								
協力期間 (協定・R/D)	5年(昭和53年6月29日～昭和58年6月28日) (延長) 年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)								
相手国協力機関	(和文) 経済開発庁 (英文) Economic Development Board (EDB)								
プロジェクト住所	2985 Jalan Bukit Merah, Singapore 0315 () より km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数14名、理事長1名、計装制御科2名、機械科3名、電気・電子科5名、 日本語科2名、調整員1名								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調 査			機 材 金 額	専 門 家 人 数		研 修 員 人 数	
		年/月	区 分	金 額		長 期	短 期		金 額
52	千円 2,863	52/11	事前調査	千円 2,863	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
53	251,354	53/6	実施協議	5,779	245,575	0	0	0	9
54	260,101	54/11	巡回指導	2,113	254,577	14	6	3,411	4
55	154,288	56/3	巡回指導	2,834	14,104	0	8	137,350	4
小計	599,570			13,818	580,720	14	14	140,761	17
3. 計画									
56	192,902	-	-	0	7,600	14	3	185,302	4

4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	<p>本プロジェクトは、シンガポールにおいて不足している中堅技能者を養成することを目的としてシンガポール国政府経済の4番目のセンターとして設置された。</p> <p>本研修センターは、①計装制御科(15名)、②機械科(40名)、③電気、電子科(45名)及び④日本語科(100名全員受講)を設け、センター内訓練2年間、企業内訓練2年間の計4年間毎年100名ずつの訓練を行う計画である。このため、我が国からは53年度、54年度を中心に約5億円の機材供与、カウンターパートの受入れ及び理事長以下合計14名の長期専門家の派遣を行っている。</p> <p>現在のセンターの訓練状況は、第1回訓練が54年11月より開始され、建物の完成の遅れのため第1学年の訓練計画を手直しする必要がでたが、ほぼ当初の計画通り順調に進み、55年10月で第1学年の過程を終了し、同年11月より第2学年の訓練が開始されるとともに新たに第2回訓練生100名が入所し第1学年の訓練が開始されたところである。</p>
5. 問題点	<p>「シ」側は日本センターの発足時より現在の年間100名の訓練定員を2シフトの導入により200名に増す意向をもっており、現在その実施の可能性につき具体的に検討を行っている段階である。</p>
6. 関連事業	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	

プロジェクト方式

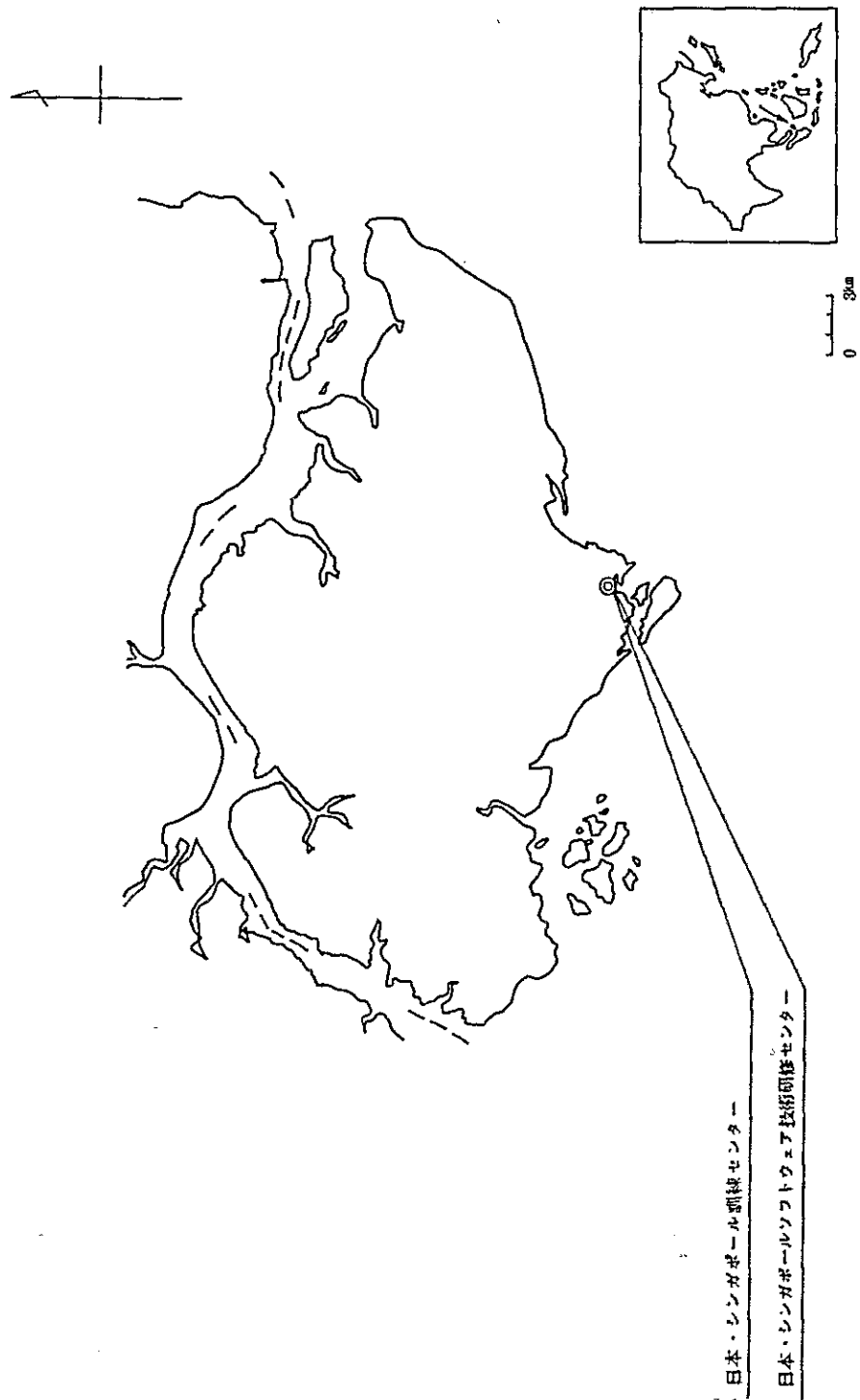
1. 概況										
国名	シンガポール			プロジェクト番号				予算区分	⑤ 医, 人, 農, 産	
プロジェクト名	(和文) 日本・シンガポール ソフトウェア技術研修センター (英文) Japan-Singapore Institute of Software Technology (JSIST)									
協力期間	5年 (昭和55年12月18日 ~ 昭和60年12月17日)									
(協定・R/D)	(延長) 年 (昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日)									
相手国協力機関	(和文) 経済開発庁 (英文) Economic Development Board									
プロジェクト住所	11th Floor, World Trade Center Building, Telok Blangah Road, Singapore 0409 (より km)									
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 0名									
2. 実績										
年度	プロジェクト	年/月	調査		機材 金額	専門家 人数		研修員 人数		
			区 分	金額		長期	短期			
54	千円 2,272	55/2	事前調査	千円 2,272	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0	
55	8,004	55/12	実施協議	3,512	0	0	5	4,492	0	
小計	10,276			5,784	0	0	5	4,492	0	
3. 計画										
56	252,068		計画打合せ	3,286	171,000	7	8	77,777	6	

技術協力概要表

担当部課 社会開発協力部海外センター課 (56・3・5作成)

<p>4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)</p> <p>本プロジェクトは, シンガポール国における将来のコンピューター・ソフトウェア産業を担う人材を養成する技術研修センターの設置に対し, 日本国政府が研修用機材の供与, 日本人専門家の派遣及びカウンターパートの受け入れを効果的に実施することを内容とする技術協力をを行い, 以って「シ」国の社会・経済発展に寄与することを目的とする。</p> <p>本研修センターは, ①プログラマコース, ②システムプログラマコース, ③シニアプログラマコース, ④システムエンジニアコース, ⑤経営者のためのコンピューターアプリケーションコースを有し, 年間約350人の技術者を養成する計画を有する。これに対し, 我国が行う技術協力の内容としては, 各コースを運用するに十分な機能を有する中型コンピューター, 小型コンピューター及びマイクロコンピューター等研修用機材(約5億円)の供与, コンピューター教育の専門家及び業務調整員計7名(長期)及び特にコンピューター・アプリケーション等の専門家(短期)の派遣及び計20名程度の現地指導員を約6カ月程度日本が教育することである。</p> <p>「シ」国政府は, 1980年代を産業構造高度化の時代と位置づけており, 本センターについても早期の開所(本年10月)を強く希望しており, 我国としてもこれに応えるため, 設置専門部会を設立し, 訓練計画, 専門家の派遣計画, 研修員の受け入れ計画, 供与機材計画及び協力期間中の国内支援体制等の検討を開始している。又, 研修所に設置するコンピューター・システムの第1期分については, 開所のタイミングにあわせるため, 既に発注手続きを進めており, 本年10月には, 現地据付・調整を終了する予定となっている。</p>
<p>5. 問題点</p>
<p>6. 関連事業</p>
<p>7. 昭和56年度計画(重点事業計画)</p>

シンガポール：プロジェクト方式技術協力位置図 56.7.1



(5) タ 1

① 昭和55年度技術協力実績及び昭和56年度計画

	55年度実績	56年度計画	備考																																
1. 専門家を迎事業	継続27人, 新規62人	継続27人, 新規56人 (その他任期延長8人)																																	
2. 研修員受入事業	269人(集団179人, 個別96人) (国際機関24人)	267人(集団168人, 個別99人)																																	
3. 機材供与事業	4件 75,809千円 (1) 高地農業開発 (30,892千円) (2) 郵便自動化機械 (28,718千円) (3) 作物病害防除 (16,916千円) (4) 医療器材 (4,788千円)	2件 50,000千円 (1) 高地農業開発 (25,000千円) (2) 竹細工試験研究 (25,000千円) (鉄道線路維持(39,980,000千円:繰越分))																																	
4. プロジェクト方式技術協力	継続12件, 新規2件	継続15件, 新規1件																																	
(1) センター協力事業	東北タイ職業訓練センター モンクット王工科大学 地域保健活動向上計画 看護教育	東北タイ職業訓練センター モンクット王工科大学 地域保健活動向上計画 看護教育 国立がんセンター																																	
(2) 医教協力事業			長期専門家の住宅問題 日常生活用水の確保が問題。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>専門家</th> <th>調査団</th> <th>機材供与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>巡回指導</td> <td>50,468千円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>—</td> <td>118,458</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>エバリエーション</td> <td>55,799</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>実施調査</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	専門家	調査団	機材供与	—	巡回指導	50,468千円	5	—	118,458	9	エバリエーション	55,799	6	実施調査	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>専門家</th> <th>調査団</th> <th>機材供与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>エバリエーション</td> <td>16,150千円</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>計打合せ</td> <td>80,750</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>—</td> <td>47,486</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>—</td> <td>10,061</td> </tr> </tbody> </table>	専門家	調査団	機材供与	2	エバリエーション	16,150千円	10	計打合せ	80,750	4	—	47,486	1	—	50,000	2	—	10,061
専門家	調査団	機材供与																																	
—	巡回指導	50,468千円																																	
5	—	118,458																																	
9	エバリエーション	55,799																																	
6	実施調査	—																																	
専門家	調査団	機材供与																																	
2	エバリエーション	16,150千円																																	
10	計打合せ	80,750																																	
4	—	47,486																																	
1	—	50,000																																	
2	—	10,061																																	

(注) ① 55年度実績金額は暫定数字。

② 56年度計画は、実行予算ベース。

	55年度実績			56年度計画			備考
	専門家	調査団	機材供与 千円	専門家	調査団	機材供与 千円	
(3) 人口・家族計画	2	巡回指導	86,779	5	-	92,888	
(4) 農林業協力事業	12	計打合せ	90,184	11	エバリエーション	99,000	<p>口蹄疫の解明は世界的問題であり、第8国との連携が必要。タイ側ランニンゴクゴスト確保困難。</p> <p>チャオピオ地区パイロトプロジェクト遅延意味（破壊条件劣悪等による）。</p> <p>本館建設の促進。</p>
	6	巡回指導	122,465	8	エバリエーション	76,000	
	5	実施設計	38,882	8	巡回指導	115,903	
	4	計打合せ	40,874	5	-	88,000	
	2	実施協議	765	6	計打合せ	31,000	
(5) 産業開発協力事業	1	事前調査	-	6	-	32,903	
	3	事前調査	-	2	実施協議 実施設計	36,000	
	5	巡回指導	38,162	-	事前調査	-	
	4	計打合せ	88,899	7	巡回指導	5,900	

	55年度実績	56年度計画	備考
5. 開発調査事業	16件 (1) バンコック市下水道整備計画 (2) バンコック市都市建築物整備計画 (3) バンコック市下水道及び都市建築物整備計画 (4) タイ北部地方道路網整備計画 (5) タイ東部水資源開発計画 (6) ペチャブリーかんがい農業開発計画 (7) メイクワンかんがい農業開発計画 (8) 農協組織育成計画 (9) パサックク河流域かんがい農業開発計画 (10) チャオピア河架橋計画 (11) カンボジア難民センター生活用水供給計画 (12) 小規模ダム建設計画基本設計調査 (13) マハサラカム看護学校建設計画基本設計調査 (14) バンセン海洋科学センター建設計画基本設計調査 (15) バンコック電話網建設計画 (16) ソワンかんがい開発計画	継続11件 (1) バンコック市下水道整備計画(継続) (2) バンコック市都市建築物整備計画() (3) タイ北部地方道路網整備計画() (4) タイ東部水資源開発計画() (5) ペチャブリーかんがい農業開発計画() (6) メイクワンかんがい農業開発計画() (7) 農協組織育成計画() (8) パサックク河流域かんがい農業開発計画() (9) チャオピア河架橋計画() (10) カンボジア難民センター生活用水供給計画() (11) ケンコイ・バンモ地区ポンプかんがい計画() (12) 公衆衛生研究所建設計画(新規) (13) 中央林業研究センター建設計画()	
6. 海外開発計画調査事業	7件 (1) アセアン、ソーダ灰工場建設計画 (2) クアライヤイ河上流水力発電開発計画 (3) ナムバイ水力発電開発計画 (4) スミサコン工業団地計画 (5) バンコック配電網計画 (6) 石油化学プラント建設計画	継続3件 (1) ナムバイ水力発電計画(継続) (2) バンコック配電網計画() (3) 石油化学プラント建設計画() (4) 地熱発電開発計画(新規) (5) 金属加工振興計画() (6) ナムヤム水力発電計画()	

	55年度実績	56年度計画	備考
7. 協力隊派遣事業	<p>55年度実績 錦本総理訪タイ時に、昔年海外協力隊派遣に係る交換公文締結（56年1月）</p>	<p>56年度計画 新規7人</p>	

② プロジェクト方式技術協力概要表(タイ)

プロジェクト方式

国名タイ王国	作成年月日	昭和56年4月17日				
1. プロジェクト名称 (和・英文)	東北タイ職業訓練センター The Institute for Skill Development in The Northeast of Thailand					
2. 署名年月日 R/D (協定)	R/D 昭和52年12月12日 (協定) 昭和 年 月 日					
3. 発効日及び協力期間 R/D (協定)	昭和52年12月12日から 4年間					
4. 延長期間	昭和 年 月 日から 年間					
5. 協力目的	<p>東北タイ地域における工業・農業の発展に寄与する技能者の養成、関係企業の生産性向上のために必要な技能者等の技能水準の向上に必要な実技及び理論の訓練を行うことを目的とする。訓練分野は、自動車、農業機械、钣金溶接、機械、電気電子、建築建設の6分野にわたり、訓練期間はセンター内訓練6ヵ月、企業内訓練2ヵ月、訓練定員は各職種10～20名である。</p> <p>昭和54年7月に第1回目の訓練を開始して以来、現在第3回目の訓練生を受入れ訓練を実施中である。</p>					
6. 協力内容	指導分野	コースの期間	専門家人数	訓練定員		
専門家年度	長期	短期				
53	9	0				
54	11	2	自動車	6ヵ月	1 30	
55	11	0	農業機械	〃	1 20	
56	11	0	钣金溶接	〃	1 55	
			機 械	〃	1 40	
			電気・電子	〃	2 34	
			建築・建設	〃	3 48	
					ガソリンエンジン修理 15名 ディーゼルエンジン修理 15名 農業機械修理 20名 钣金 15名 電気溶接、ガス溶接 40名 旋盤加工 15名 一般仕上 15名 各種機械加工 10名 電気機器調整、電気設備配線 24名 冷・空調機器 10名 大工 15名 家具製作 15名 建設(左官) 18名	
7. センター管轄省庁名	内務省労働局					
8. センター所在地	Maliwan Road, Amphur Muang, Khor Kaen. Thailand					
9. カウンターパート受入	年 度	52	53	54	55	56
	高級 人数	2			1	
	一般		4	4	5	(5)

技術協力概要表

担当部課	社会開発協力部海外センター課		
10. 機材供与	全体計画額	175 (百万円)	
年度	機材額 (C.I.F)	主 要 機 材	
53	57,823 ^{mn}	普通旋盤, 自動車, グブテールマシン, ほど取り盤, 青写真焼付機他	
54	47,193	平面研削盤, 動力刈取機, 製図器具, トラックター, 工具類他	
55	(188)	電動工具類	
	48,951		
56	(1,049)	立てフライス盤, マイクロメーター, ハーベスタ, 発動機, 田植機, 両頭研削機	
	(予定)16,150		
合 計	171,354		
11. 調査チーム			
種別	派遣時期及び期間	人数	備 考
事前	51.10/5～51.10/24 (20日間)	4名	団長: 石井良和 労働省職業訓練局指導課々補佐
実施	52.11/28～52.11/14 (17日間)	5名	団長: 笠原昌平 労働省職業訓練局指導課長
巡回	54.11/18～54.12/1 (14日間)	3名	団長: 田淵孝輔 労働省訓練政策課長
巡回	56.3.9～3.21	4名	
機材修理	S.56 繰越		
エバリュ エーション	S.56 予定		

プロジェクト方式

国名	タイ	作成年月日	昭和56年4月17日		
1. プロジェクト名称 (和・英文)	モンクット王工科大学拡充プロジェクト The Expansion Project of KMIT (King Mongkut's Institute of Technology)				
2. 署名年月日 R/D (協定)	R/D 昭和53年12月12日 (協定) 昭和 年 月 日				
3. 発効日及び協力期間 R/D (協定)	昭和53年12月12日から 4年間				
4. 延長期間	昭和 年 月 日から 年間				
5. 協力目的	当初、電気通信訓練センターとして、我国の技術協力を受けてきた標記工科大学工学部設置分野のうち、①データ処理工学、②半導体工学、③電理工学の3分野につき、拡充計画プロジェクトとして、学部レベル及び大学院レベルの研究、教育協力を実施する。				
6. 協力内容	指導分野	コースの期間	専門家人数	訓練定員	
専門家 年度	長期	短期			
53	1	0	データ 処理工学	1	
54	3	0	半導体工学	1	
55	4	4	電理工学	1	
56	(5)	(7)	調整員	1	
7. センター管轄省庁名	国立大学庁				
8. センター所在地	Ladkrabang Campus, Ladkrabang, Bangkok				
9. カウンターパート受入	年 度	54	55	56	
	人数	高級	1	6	(3)
		一般	4		

技術協力概要表

機材額の()内の金額は前年度よりの翌債、繰越予算

担当者	社会開発協力部海外センター課 小林 雅彦		
10. 機材供与	全体計画額	445 (百万円)	
年度	機材額 (C.I.F)	主 要 機 材	
54	187,624 ^{万円}	コンピューター一式、直流磁化特性自動記録装置、直流校正装置、デジタルAC パワー、パワープレス、ストレージオシロスコープ、温度集録装置	
55	(16,699)	直流高電圧試験装置	
	100,989	} コンピューター増設機器、純水製造装置等半導体製造機器一式	
56	(14,011)		
合計	(予定)80,750 350,073		
11. 調査チーム			
種別	派遣時期及び期間	人数	備 考
事前	53. 8. 3~8.17	5	
実施	53.11.30~12.14	5	
計画打合せ	S 56 予定		

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号: 予算区分: セ, 医, ①, 農, 産								
プロジェクト名	(和文) 家族計画 (英文) Family planning								
協力期間	5年(昭和49年4月1日～昭和54年3月31日)								
(協定・R/D)	(延長) 5年(昭和54年4月1日～昭和59年3月31日)								
相手国協力機関	(和文) 保健省 (英文) Ministry of Public Health,								
プロジェクト住所	Devaves Palace, Bangkok (より km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 0名								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門家 人数			研修員 人数
		年/月	区 分	金額		長期	短期	金額	
～50	千円 71,126	49	実施調査	千円 4,568	千円 66,558	人 0	人 0	千円 0	人 29
51	78,312	—	—	0	78,312	0	0	0	6
52	101,446	51/8	エバリュエーション	1,182	99,314	0	0	0	7
53	76,078	53/11	巡回指導	1,246	74,832	0	0	0	6
54	94,307	54/	計画打合わせ	1,279	92,082	0	2	946	5
55	101,186	56/2	巡回指導	1,284	96,724	0	2	3,178	1
小計	521,405			9,459	607,822	0	4	4,124	54
3. 計画									
56	約115,933	—	—	—	92,388	0	5	23,595	2

技術協力概要表

担当部課 医協部医協課 (56・4・27作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的	ナコンサワン県をモデル地域として設定し, 同地域を中心として家族計画と母子保健を統合した形において, 広報・教育活動を行い, 同サービス活動を通じて家族計画の普及を図る。 また, モデル地域での協力の成果を他の地域に反映させる。
(2) 事業計画	中堅技術者養成の実施。
(3) 現状	現在, 専門家派遣なし。
5. 問題点	
6. 関連事業	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) 中堅技術者養成の実施	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号: 予算区分: セ, (☑), 人, 農, 産								
プロジェクト名	(和文) 地域保健活動向上計画 (英文) Promotion of Provincial Health Services								
協力期間	5年(昭和51年4月1日～昭和56年3月31日)								
(協定・R/D)	(延長) 3年(昭和56年4月1日～昭和56年3月31日)								
相手国協力機関	(和文) 保健省医科学局 (英文) Department of Medical Sciences, Ministry of Public Health								
プロジェクト住所	タイ国チャントブリ県 (バンコックより350km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数4名(チームリーダー1名, 衛生動物学1名, 細菌学1名, 調整員1名)								
2. 実績									
年	プロジェクト	調査		機材	専門家		研修員		
		年/月	区分		金額	人数		金額	
～50	千円 8,240	49/11 51/1	事前 実施協議	千円 7,116	千円 0	人 0	人 0	千円 1,124	人 1
51	11,312	—	—	—	2,754	1	6	8,558	7
52	152,590	52/11	巡回指導	2,824	121,851	3	8	27,915	8
53	198,920	54/3	計画打合せ	1,523	140,902	3	1	56,495	10
54	140,179	55/3	機材修理	7,535	60,776	5	2	71,868	8
55	141,898	55/11	エバリュエーション等	17,340	52,851	2	7	71,202	4
小計	652,634	15/12	実施設計	36,338	379,134	14	24	237,162	38
3. 計画									
56	133,436	—	—	0	47,486	4	0	85,950	3

技術協力概要表

担当部課 医協・医協 (56・4・27作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的	R/Dに基づき, タイ国チャントブリ県のモデル地区内の保健活動の向上, 推進及び中央研究機関とリンクした検査機関の強化を目的としている。
(2) 事業計画	56年度以降は疫学調査及び公衆衛生活動を強化し, Ar.bovirus感染症の研究, 腸管系伝染病等の研究活動をとおり, 地域住民の保健活動の意識向上をはかる。
(3) 現状	モデル地区のあるチャントブリ県が伝染病の発生率が顕著に高いので, その対処策として水の安定供給をする必要がある。 56年度において水供給施設の工事を実施する。
5. 問題点	
①	長期専門家の住宅問題
②	健康な日常生活にとって不可欠な安全な水の確保が難しい。
6. 関連事業	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	
基盤整備費による水供給施設の工事実施。	

プロジェクト方式

1. 概況										
国名:	タイ	プロジェクト番号:				予算区分:	セ, ⑤, 人, 農, 産			
プロジェクト名	(和文) 看護教育 (英文) Nursing Education									
協力期間 (協定・R/D)	5年(昭和55年8月1日～昭和60年7月31日) (延長) 年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)									
相手国協力機関	(和文) 保健省 (英文) Ministry of Public Health									
プロジェクト住所	Nursing Colleges Division Office of the Under Secretary of State for Public Health (より km)									
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 1名 計画調整 1名									
2. 実績										
年 度	プロジェクト 総経費	調 査			機 材 金 額	専 門 家			研 修 員 人 数	
		年/月	区 分	金 額		人 数	金 額	人 数		
53	千円 2,713	53/	実 施 調 査	千円 2,713	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0	
55	10,845 *(4,683)	55/8	実 施 協 議	2,084	0	1	5	4,078	1	
小計	13,261			4,797	0	1	5	4,078	1	
3. 計 画										
56	100,817	-	-	0	50,000	1	0	50,817	3	
*中堅技術者										

技術協力概要表

担当部課 医 協 課	(56・4・27作成)
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目 的	
① 1980年に改革された教育プログラムの評価改善のため実施する調査, 研究活動に関し助言・指導を行う。	
② 内・外科及び小児看護を中心とした教授法の開発のため助言・指導を行う。	
③ 保健省看護教育課の視聴覚センターを中心に視聴覚機器を供与し, 17の看護学校で使用する教材開発に協力する。	
④ 中堅の看護婦・助産婦を育成するために, タイ側が実施する研修に対し, ローカル・コストの援助を行う。	
(2) 現 状	
計画調整の専門家を派遣し, 中堅技術者養成計画を中心に推進中。	
5. 問 題 点	
6. 関 連 事 業	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	
中堅技術者養成	

プロジェクト方式

技術協力概要表

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号: 予算区分: セ, 医, 人, 農, 産								
プロジェクト名	(和文) 家畜衛生改善計画 (英文) Animal Health Improvement Programme								
協力期間	3年(昭和52年3月2日 ~ 昭和55年3月1日)								
(協定・R/D)	(延長) 2年(昭和55年3月2日 ~ 昭和57年3月1日)								
相手国協力機関	(和文) 農業及び協同組合畜産振興局 (英文) Department of Livestock Development, Ministry of Agriculture and Cooperatives.								
プロジェクト住所	① FMD Vaccine Production Center, Pak-Chong, Nakhon Rachasima Province. ② Diagnostic Laboratory Center, Thung-Song, Nakhon Sri-Thammarat Province. (Bangkokより① 300 Km ② 1,000 Km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 長期7名(①3 リーダー(ワクチン製造兼), ワクチン製造, 診断検定, ②4 リーダー(微生物学), ウイルス学, 病理学, 細菌学) 短期4名(①ワクチン検定4/10~7/9, 施設保守3/27~6/26 ②臨床病理4/10~7/9, ; アドバイザー4/10~5/9)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査		機材 金額	専門家 人数		研修員 人数		
		年/月	区分		金額	長期		短期	
51	千円 6,198	51/9	実施調査(第1班)	千円 6,198	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
		52/2	実施調査(第2班)						
52	131,085	52/8	計画打合	2,064	111,950	7	2	17,071	2
53	140,192	53/11	巡回指導	2,174	65,293	1	4	72,725	2
54	142,525	54/11	エバリュエーション	4,480	58,362	4	7	79,733	4
55	178,692	55/11	計画打合	2,505	89,831	4	5	86,356	5
小計	598,692			17,871	325,436	16	18	255,885	18
3. 計画									
56	183,814	第2 4半期	エバリュエーション (インドネシア・家畜衛生改 善と合同)	4,675	99,000	2	9	80,139	5

担当部課 農林部畜産開発課 (56・4・28作成)

4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)
(1) 目的 タイ国における家畜衛生の改善を図り, 畜産振興に寄与することを目的とする。
(2) 事業計画 ① 畜産振興局にアドバイザーを派遣し, タイ国政府の家畜衛生行政全般に対する助言。 ② 口蹄疫ワクチン製造センターにおいて, 口蹄疫ワクチンの大量培養技術の確立, 口蹄疫の診断, ワクチン検定等の事業を行う。(①) ③ 家畜衛生センター(ツンソン)において, 家畜疾病の診断技術の指導, 疫学調査, 地域防疫計画の立案, 実施, 病性鑑定業務の確立, 地域の獣医師畜産技術者の指導育成, 等の事業を行う。
(3) 現状 ① アドバイザーの派遣は日本側対応者の長期派遣が困難なため, 各年次毎に短期1~2回を派遣し, ワクチン製造とその普及, 家畜衛生センターとの連携と防疫対策等につき畜産振興局に助言している。 ② 口蹄疫ワクチン製造における大量培養法は試行錯誤を重ねつつ, 「ローリングボール」法50万ドーズ, 「サスペンション」法450万ドーズ当初計画に対し夫々43万ドーズ, 320万ドーズ(S56.3.31現在)の製造に到達し, タイ政府評価は極めて高い。 ③ おおむね予定どおりの進捗をみせ, 南部地域の家畜疾病予防対策の重要拠点として活動中。
5. 問題点 (ア) アドバイザー派遣には長期派遣適任者の発掘が困難である。 (イ) 製造方法では見通しがついてきたが, その力価等の検定能力の技術移転に問題が残されている。 (ウ) 口蹄疫の解明は世界的問題であり, 第3国との関連, 協調動作が必要であるが, その具体的処理に困難性がある。 (エ) タイ国側ランニングコストの確保に困難性がある。
6. 関連事業 一般無償19億, 口蹄疫ワクチン製造センター建設(S50, 51年度実施)
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) (ア) 口蹄疫ワクチン製造の計画目標の達成と生産ワクチンの検定技術の向上。 (イ) 家畜衛生センターの病性鑑定材料採取ルートの確立と疫学的調査技術の充実に資する。

プロジェクト方式

1. 概況									
国名：タイ	プロジェクト番号： 予算区分：セ, 医, 人, 産								
プロジェクト名	(和文) タイかんがい農業開発計画 (英文) Irrigated Agriculture Development Project.								
協力期間 (協定・R/D)	5年(昭和52年4月8日～昭和57年4月7日) (延長) 年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)								
相手国協力機関	(和文) 農業共同組合省 (英文) Ministry of Agriculture and Cooperatives								
プロジェクト住所	Project Center: 農業共同組合省農地改革局(バンコック) Pilot Project: チャオピア, メクロン 訓練プロジェクト: スハンブリ (以上より km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数14名(リーダー, かんがい3人, 圃場整備2人, 栽培4人, 普及1人, 農業経済, 農業機械, 業務調整)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調 査			機 材 金 額	専 門 家 人 数		研 修 員 人 数	
		年/月	区 分	金 額		長 期	短 期		
51	35,322	51/5 51/11	事前調査 実施設計	5,041 19,948	3,880	3	0	6,453	0
52	209,761	52/9 53/3	実施設計 計画打合せ	34,269	144,236	6	0	31,256	4
53	276,737	54/2	巡回指導	1,683	168,959	5	2	106,095	5
54	377,240	54/10	巡回指導	1,817	228,906	4	3	114,371	5
55	322,531	55/10	巡回指導	3,082	122,463	6	0	134,805	4
小計	1,221,591			65,840	668,444	24	5	392,980	18
3. 計画									
56	192,492	56/8	エバリュエーション	6,536	76,000	5	3	109,956	4
		57/3	R/D協議						

技術協力概要表

担当部課 農開部農技協課 (56・4・24作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的	タイの米生産の増大及び2期作地域の拡大に貢献することを目標にチャオピア及びメクロン地区において、圃場整備の促進、農業生産技術の改良及び普及並びに農民組織の開発強化に協力する。
(2) 事業計画	① プロジェクトセンターに於けるチャオピア, メクロン流域80万haにおけるかんがい農業開発計画の企画及び実施に必要な技術的助言。 ② チャオピア, メクロンに3カ所のパイロット地区を設置し、農業基盤施設の改善計画の策定、実施、改良稲作の導入展示、農民訓練等への指導。 ③ スハンブリ稲作試験場内に訓練センターを設置し、かんがい農業開発に関する試験・訓練への指導。
(3) 現状	プロジェクトセンター, メクロンパイロットプロジェクト, 訓練プロジェクトはいずれも円滑に実施されているが、チャオピアパイロットプロジェクトは、環境条件劣悪等により活動が遅滞気味である。
5. 問題点	
(1) メクロン第2地区及びチャオピアの圃場整備の促進(定完成) (2) 上記を踏まえた今後の協力方針の策定(エバリュエーションの実施)	
6. 関連事業	
一般無償(52年度) スハンブリ訓練センター 120百万円	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	
(1) エバリュエーションチームを派遣(8月)し、評価を行う。 (2) チャオピア地区のは場整備促進 (3) 普及・訓練の強化	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号:	予算区分: セ, 医, 人, 産							
プロジェクト名	(和文) カセサート大学研究協力計画								
	(英文) Research and Development Project in KASETSART University								
協力期間	5年(昭和55年4月10日～昭和60年4月9日)								
(協定・R/D)	(延長)	年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)							
相手国協力機関	(和文) カセサート大学								
	(英文) KASETSART University								
プロジェクト住所	Kasetsart University Kamphaengsaen Campus, Nakhon Pathom Province. (Bangkok より北西約80 km)								
赴任中専門家	総数 長期1名(チームリーダー)								
(分野別人員)	短期2名(醗酵3/2～5/1, 野菜種子55.12/8～5/16)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト	調 査			機 材	専 門 家			研 修 員
		年/月	区 分	金 額		金 額	人 数	金 額	
53	千円 4,737	53/7	事前調査	千円 4,737	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
54	14,553	55/3	実施協議	3,216	0	(長期調査員) 0		11,337	0
55	61,633	55/10 -12	実施設計調査	6,981	38,331	1	4	16,321	3
小計	80,923			14,934	38,331	1	5	27,658	3
3. 計画									
56	169,452	第3 4半期	巡回指導調査(普及・機械と合同)	4,698	115,903	1	7	48,851	3

技術協力概要表

担当部課 畜産開発 (56・4・24作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的 タイ国内における野菜種子の自給生産と炭水化物の有効活用を目的とする。	
(2) 事業計画 ① 炭水化物資源(砂糖キビ, キャッサバ)とエネルギー(エタノール, バイオガス)に関する研究。 ② 野菜種子(スイートコーン, 三尺ササゲ)の種子生産と病虫害に関する研究。	
(3) 現状 チームリーダーを55年7月に派遣し, プロジェクト推進の基礎的整備を実施してきた。そのため55年11月研究用圃場, かん水施設等のインフラ整備のための実施設計調査団を派遣, その結果に基づき, 56年度モデルインフラ整備事業を施行する段階であり, 研究業務としては醗酵, 病虫害の短期専門家を派遣しその緒についたところである。	
5. 問題点 日本側技術者の長期派遣適任者の発掘が困難であり, 短期専門家によって事業を推進せざるを得ない。 醗酵菌の検索等についてはタイ国内のみでは困難であり, 日本国内における支援体制が強力であることが望まれる。	
6. 関連事業 一般無償 昭和54年度13億 総合研究所及びグリーンハウス	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) 各研究項目の共同研究体制の強化 研究用圃場(試験, 研究用かんがい施設を含む)の整備	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名:	タイ	プロジェクト番号:			予算区分:	セ, 医, 人, 産			
プロジェクト名	(和文) 国立雑草科学研究所 (英文) National Weed Science Research Institute Project.								
協力期間 (協定・R/D)	5年(昭和55年4月18日～昭和60年4月17日) (延長) 年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)								
相手国協力機関	(和文) 農業協同組合省 (英文) Ministry of Agriculture and Cooperatives (MOAG)								
プロジェクト住所	C/O Weed Science Branch, Technical Div., Dept. of Agric. MOAG, Bangken. Bangkok (より km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 3名 (リーダー, 雑草防除, 雑草生態)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門家			研修員 人数
		年/月	区	金額		人数		金額	
53	千円 2,745	54/2	事前調査	千円 2,745	千円 0	長期 0	短期 0	千円 0	人 0
54	6,214	55/4	実施協議	3,055	0	(長期調査員) 0		3,159	0
55	56,684	56/3	計画打合せ	2,937	35,120	3	1	18,627	1
小計	65,643			8,737	35,120	3	2	21,786	1
3. 計画									
56	132,623	-	-	-	88,000	1	4	44,623	3

技術協力概要表

担当部課	農開部農技協課	(56・4・24作成)
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)		
(1) 目的		
作物生産の阻害要因の一つとなっている雑草について, その制御管理に関する基礎及び応用研究を実施し, 雑草問題の解決を図る。		
(2) 事業計画		
国立雑草科学研究所及び関係地方試験場において次の研究協力を実施する。		
① 主要雑草の生態, 生理に関する研究		
② 雑草の制御・管理手法に関する研究		
③ 残留除草剤及び除草剤の適正利用に関する研究		
④ 情報交換及びタイ研究者の能力開発		
(3) 現状		
予定専門家が着任したので(56年2月)今後協力の本格化が期待される。		
5. 問題点		
(1) 本館建設の促進		
6. 関連事業		
なし		
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)		
(1) 研究対象雑草種の調査		
(2) 有望除草剤のスクリーニング及び除草剤研究計画の立案		
(3) 供与機材の取扱い操作法の訓練		

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号:	予算区分: セ, 医, 人, 産							
プロジェクト名	(和文) 沿岸養殖センター (英文) Coastal Aquaculture Development Project								
協力期間 (協定・R/D)	5年(昭和56年4月1日～昭和61年3月31日) (延長) 年(昭和 年 月 日～昭和 年 月 日)								
相手国協力機関	(和文) 農業協同組合省水産局 (英文) Department of Fisheries, Ministry of Agriculture & Cooperatives								
プロジェクト住所	Songkhla Coastal Aquaculture Centre, Kao-Song, Songkhla, Thailand (バンコックより1,000km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 2名 (リーダー, 養殖)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門家			研修員 人数
		年/月	区	金額		人数	金額	人数	
54	千円 3,414	54/6	事前調査	千円 3,414	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
55	7,995	55/10	実施協議	3,008	765	(長期調査員) 0 2		4,222	0
小計	11,409			6,422	765	0	2	4,222	0
3. 計画									
56	71,517	56/10	計画打合せ	2,800	31,000	3	3	37,717	3

技術協力概要表

担当部課 林開部水産協力室 (56・4・28作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的と事業内容 下記項目に関する技術・知識を向上し, タイ国沿岸養殖開発に寄与するための研究を実施する。 ① 魚類種苗生産研究 ② 魚類養殖研究 ③ 魚類の沿岸養殖適地調査研究	
(2) 現状 専門家2人 4月15日赴任 現在詳細運営計画準備中	
5. 問題点 なし	
6. 関連事業 水産無償 8億円 昭和54年度	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	
(1) ひこう5年間のプログラミング (2) 養殖センター オープンセレモニー	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: タイ	プロジェクト番号: 予算区分: セ, 医, 人, 農, 産								
プロジェクト名	(和文) カセサート大学農業普及と機械化計画(予定) (英文) The Agricultural Extension and Mechanization Project (予定)								
協力期間	5年(昭和56年7月1日 ~ 昭和61年6月30日)								
(協定・R/D)	(延長) 年(昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日)								
相手国協力機関	(和文) カセサート大学 (英文) KASETSART University								
プロジェクト住所	Kasetsart University Kamphaengsaen Campus, Nakhon Pathom Province. (Bangkok より北西約80 km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 0名(現在、R/D 署名チーム派遣中 4/30 署名予定) 4/21 ~ 5/2								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調 査			機 材 金 額	専 門 家 人 数		研 修 員 人 数	
		年/月	区 分	金 額		長 期	短 期		金 額
55	千円 8,872		事前調査	千円 6,321	千円 0	人 0	人 2	千円 2,551	人 0
小計	8,872			6,321	0	0	2	2,551	0
3. 計画									
56	71,083	第1 4半期	実施協議	(4,045)	32,903	3	3,38,180		2

技術協力概要表

担当部課 畜産開発課 (56・4・24作成)

4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)
(1) 目的 農業技術の促進に寄与するための, 農業普及技術の改善と農業機械化の開発を目的とする。
(2) 事業計画 カセサート大学・農業普及センター及び農業機械化センターにおいて次の事業を実施する。(予定)
① 農業普及センター (ア) 普及技術確立のための研究, 開発 (イ) 普及教材の作成及び実用化の研究 (ウ) 普及員のための研修基準課程の作成と研修実施の指導助言
② 農業機械化センター (ア) 農業機械化推進のために必要な諸条件の調査法の確立 (イ) 農業機械・機具の改良, 選定に必要な測定法, 試験法の確立 (ウ) 農業機械化研修の実施の指導助言
5. 問題点 両センター業務に適切な長期派遣可能技術者の発掘が困難
6. 関連事業 一般無償: 55年度実施 普及センター, 機械化センター建設
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) 両センター業務実施に必要な基礎的事項の整備

プロジェクト方式

1. 概況										
国名:	タイ	プロジェクト番号:				予算区分:	セ, 医, 人, 農, ⑥			
プロジェクト名	(和文) とうもろこし産業開発計画 (英文) Maize Development Project									
協力期間	3年(昭和51年9月17日 ~ 昭和54年9月16日)									
(協定・R/D)	(延長)	3年(昭和54年9月17日 ~ 昭和57年9月16日)								
相手国協力機関	(和文) 農業及び協同組合省協同組合推進局 (英文) Cooperatives Promotion Department, Ministry of Agriculture and Cooperatives.									
プロジェクト住所	The Cooperative Demonstration Centre, Prabuthabad, Amphur Muang, Lopburi Province. (Bangkok より 250 km)									
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 長期6名(リーダー, 栽培, 機械, 採種, 農協及び普及, 業務調整) 短期2名(機材保守4/10~5/9(2名))									
2. 実績										
年度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門家 人数			研修員 人数	
		年/月	区	金額		長期	短期	金額		
~50	千円 7,430	50/3 50/12	事前調査 実施計画調査	千円 7,430	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0	
51	8,800	51/8	実施設計調査	3,914	66	0	2	4,820	0	
52	108,683	53/1	実施設計調査	6,398	86,679	2	2	15,606	0	
53	142,194	53/7	巡回指導	2,743	93,404	3	3	46,047	5	
54	123,836	54/8	巡回指導	4,535	62,102	0	7	57,199	2	
55	105,163	55/9	巡回指導	3,040	42,925	1	2	59,198	4	
小計	496,106			28,060	285,176	6	16	182,870	11	
3. 計画										
56	118,584	第2 4半期	巡回指導	(4,821)	52,403	0	3	66,181	3	

技術協力概要表

担当部課		畜産開発課		(56・4・24作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)					
(1) 目的					
タイ国「とうもろこし」の生産性の向上を目的とする。					
(2) 事業計画					
ロップリ, サラブリ, ベチャブーン, ピッサヌローク, スコタイの5県下をプロジェクトエリアとし, ロップリ県プラブタバードに協同組合推進局が設置する「協同組合展示センター」を中心とし, 農業局, 農業普及局の3局の協調の下に次の業務を実施する。					
① センター内の業務:(1)とうもろこし栽培に係る基礎技術組立実用試験, (2)優良種子増殖配布, (3)病虫害防除事業への協力, (4)栽培法に関する普及展示, (5)採種及び栽培に関する改良技術の訓練, (6)機械化体系に関する試験とその普及訓練, (7)農協の指導。					
② センター外の業務:5県内に11ヶ所の普及拠点(農協又は農民グループ)を設け, その中の8カ所に展示圃を設け, センターにおいて実証された改良技術を表示普及すると共に, 巡回指導により, 農協運営の指導を行う。					
(3) 現状					
センター建物の建設が遅延したため, センター内業務の遅延から, 必ずしも計画どおりの事業進捗とはいえない。(1), (4), (5), (7)の事業は比較的順調であるが, (2)は昨年度から本格しつつあるところであり, (6)はその一部が実施されているが, 機械の整備, 簡易な補修等技術の訓練までには至っていない。					
5. 問題点					
3局の協調による事業であるため, 関係機関の意見一致に時間を要し, 容易な事ではない。生産品の対外輸出, 殊に日本への輸出の困難性等, 生産品流通問題が潜在しており, 事業実施に時として障害となる。					
6. 関連事業					
54年度食糧増産援助 JICA 投融資事業 昭50年3月承諾					
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)					
(1) 種子増殖配布の事業の充実		(2) 生産品品質の向上措置			
(3) 機械修理工場業務の充実		(4) 展示普及事業の充実			

プロジェクト方式

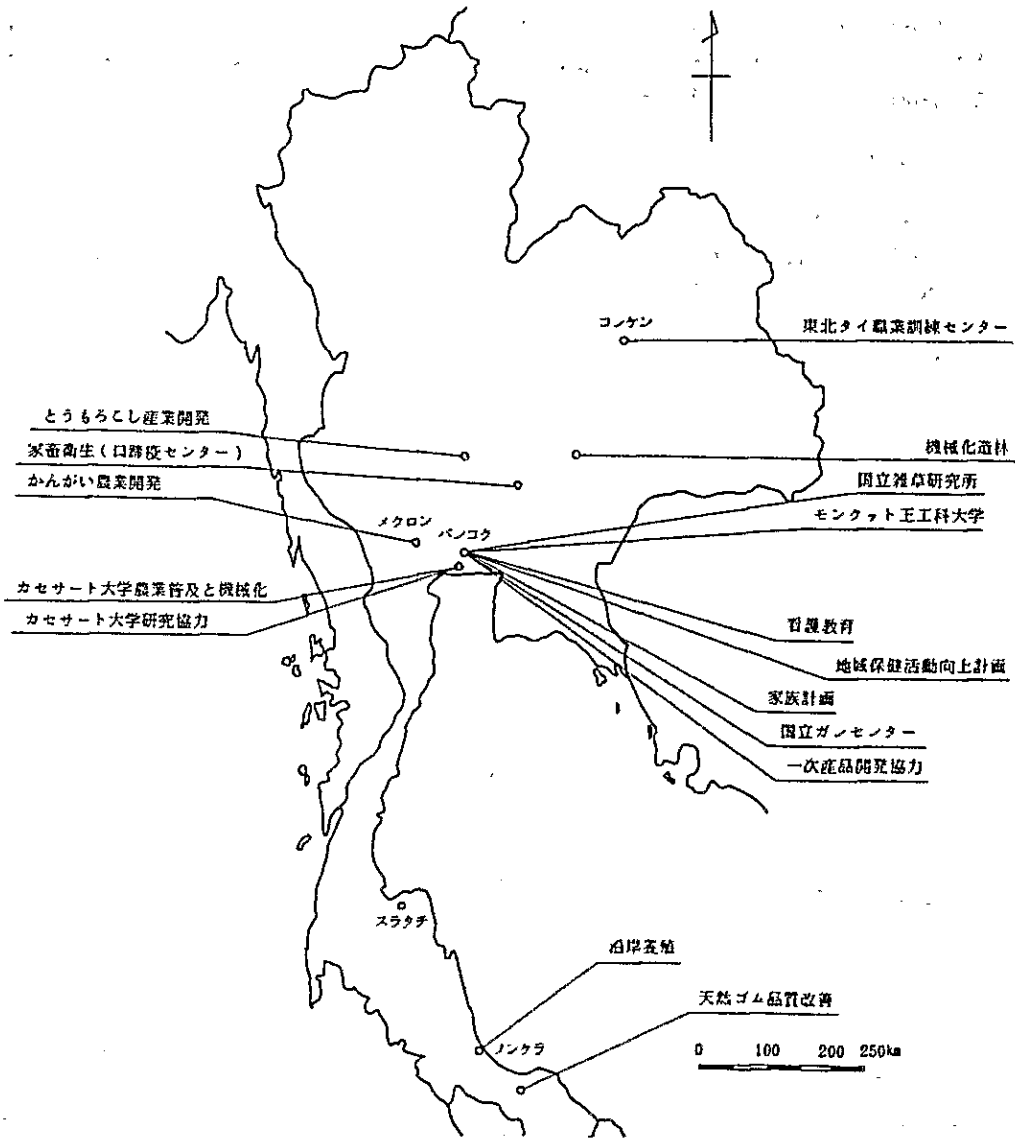
1. 概 況									
国名:	タイ	プロジェクト番号:	予算区分: セ, 医, 人, 農, 畜						
プロジェクト名	(和文) 天然ゴム品質改善技術協力事業 (英文) Technical Cooperation on the Development of Natural Rubber Processing								
協力期間	3年(昭和52年4月1日 ~ 昭和55年3月31日)								
(協定・R/D)	(延長) 2年(昭和55年4月1日 ~ 昭和57年3月31日)								
相手国協力機関	(和文) ゴム研究所 (英文) Rubber Research Centre								
プロジェクト住所	タイ国ソンクラ県ハジャイ郡コーホン村 Hat-Yai, Songkhla, Thailand (バンコク より1,000 km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 2名 (総括1名, 品質管理1名)								
2. 実 績									
年 度	プロジェクト 総経費	調 査			機 材 金額	専 門 家 人 数		研 修 員 金額	人 数
		年/月	区 分	金額		長期	短期		
50	千円 922	51/1	事前調査	千円 922	0	0	0	0	0
51	3,645	52/3	実施調査	3,645	0	0	0	0	0
52	61,951	52/8	計画打合せ	1,510	54,246	2	3	6,195	6
53	60,524	-	-	164	29,430	2	4	30,930	6
54	43,989	55/3	R/D延長協議	155	11,724	1	5	32,110	3
55	119,959	56/2	計画打合せ(エバリュエーション)	1,544	88,898	2	6	34,517	2
小計	290,990			7,940	179,298	7	18	108,752	17
3. 計 画									
56	43,813	57/2	エバリュエーション	3,717	5,900	0	7	34,196	4

技術協力概要表

担当部課		鉱工業開発技術課		(56・4・22作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)					
(1) 目 的					
本プロジェクトはタイ国の主要産品である天然ゴムの品質改善, ゴム産業の振興と資することを目的として南タイ, ハジャイにある農業協同組合省ゴム研究所に対し協力を実施しているものである。具体的には天然ゴムの品質管理の促進, 人材の育成を骨子としている。					
(2) 事業計画					
① 試験室の整備 ② 試験方法の習熟及び標準化 ③ 試験用機材の保守方法の習熟及び標準化 ④ 品質管理に関する基礎データの収集 ⑤ 品質管理, ゴム技術教育の充実					
(3) 現 状					
品質管理技術及び機材の保守・管理システム導入のための技術移転に重点を置いている。					
5. 問 題 点					
本プロジェクトの最終的狙いは品質改善であり, 現在, この活動を展開するだけの基盤(組織・技術・人)が出来上りつつある。今後いかに内容を高めるかが問題である。					
6. 関 連 事 業					
なし					
7. 昭 和 5 6 年 度 計 画 (重 点 事 業 計 画)					
(1) 品質管理技術の移転 (2) 機材の保守・管理システムの確立					

タイ：プロジェクト方式技術協力位置図

56.7.1



③ 対日協力要請リスト

List of Project Requests

(A : 取上げ見込 D : 追加資料要する
 B : 前向検討 E : 取上げ予定なし
 C : 検討中 X : 未定)

A. Agriculture

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. Kasetsart University Development (1) Supply of Equipment for the Central Laboratory and Greenhouse Complex (G : Eq.) (2) Food Research and Product Development Training Centre (G + F/S)	Kasetsart University	A. 2	X
2. Irrigated Agriculture Development in Meklong River Basin (1) Mea Klong Terminal Irrigation Facilities Development (GA) (2) Pilot Infrastructure in Meklong No.2. Area (G)	Royal Irrigation Department (R/D)	A. 9	X
3. Establishment of Agricultural School in Kanchanaburi and Pechaboon (G + F/S + Pa)	Dept. of Vocational Education	A.19	X
4. Improvement of Agriculture College in Chaiyapoom and Songkhla (G + F/S + Pa)	Dept. of Vocational Education	A.20	X
5. Handling and Permanent Maintenance (Ex : I)	Dept. of Agriculture	A.22	C

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
6. Integrated Project on Handling Improvement of Post Harvest Fruits and Vegetables for Export (Ex ≠ Eq)	Dept. of Agriculture	A.27	EX(D),Eq(x)
7. Promotion of Agricultural Cooperatives in Thailand (G ≠ F/S, Pa, Ex, Fund)	Dept. of Cooperatives Promotion	A.34	F/S (A), その他(x)
8. Small Scale Fisheries Development Pilot Project (G ≠ F/S)	Dept. of Fisheries	A.35	x
9. Development of Marine Fisheries Resources (G ≠ F/S)	Dept. of Fisheries	A.36	x
10. Sericulture Research & Training Centre (Silk Reeling Plant for Sericultural Promotion of Thailand) (G ≠ F/S ≠ Ex)	Dept. of Agriculture	A.37	G(x),F/S(x) EX(A)
11. Mini Computer in Agricultural Statistics (Eq ≠ Ex)	Dept. of Agricultural Extension	A.38	EX(D),Eq(x)
12. The Establishment on Outreach Station of the ASEAN Vegetable Research & Development Centre in Thailand (G ≠ F/S)	Kasetsart University	A.39	x
13. Fisheries Management & Conservation Project (GE)	Dept. of Fisheries	A.40	x
14. Water Resources Development Planning (Ex : 4)	Royal Irrigation Department (RID)	A.43	A

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
15. Computer Systems Design (Ex)	BAAC	A.46	A
16. Farm Broadcasting (Ex or Pa)	Dept. of Agriculture Extension	A.48	EX(D), Pa(E)
17. Agricultural Processing Technology (G + Ex + Pa)	KMIT	A.53	G(x), EX(D) Pa(D)
18. 1) Radio Rural Forum (Eq)	Dept. of Agricultural Extension	A.59	x
2) Project on Improvement of Radio Station (Por Chor Sor 8) (Pa)	Dept. of Agricultural Extension	A.60	x
19. Taxonomic Research on Natural Enemies of Agricultural Insect Pest in Thailand (Ex : 1)	Dept. of Agriculture	A.60	A
20. The Increasing to Fourty Million Doses of the Productivity of Food and Mouth Disease Vaccine Project (G + F/S)	Dept. of Livestock Development	A.61	x
21. Songkhla Fishery College (Ex, Eq or Pa)	Dept. of Vocational Education	A.62	Ex(D), Pa(E) Eq(x)
22. Backyard Pasture Development in the South (G + Eq)	Dept. of Livestock Development	A.63	x
23. Rice Seed Replacement (G + F/S)	Dept. of Agricultural Extension	A.64	x

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
24. Pig Slaughterhouse (G)	Dept. of Livestock Development	A.65	x
25. Establishment of Animal Feed Mill (G)	Dept. of Livestock Development	A.66	x
26. National Agricultural Research (Ex)	Dept. of Agriculture	A.67	D
27. Grant Aid for Promotion of Food Production	Market Organization for Farmers	A.68	x
1) Rice Production Fertilizer Project (100,000 tons) (G)	Dept. of Agricultural Extension		
2) Plant Protection for Food Crop Promotion (G : Cash Grant)	Dept. of Cooperatives Promotion		
3) Working Capital for Seed Purchase (G : Cash Grant)	RID	A.69	F/S(C)
26. Loei Upper Pasak (Irrigation Component) (F/S & Pa)	Dept. of Fisheries	A.70	E
29. Phuket Aquarium Project (Pa)	Dept. of Agriculture	A.71	A
30. Soybean Production Promotion Development Project (Pa)	Dept. of Agriculture	A.72	C
31. Oil Seed Laboratory (Pa)			

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
32. Central Forest Research Laboratory and Training Center (G + F/S)	Dept. of Forestry	A.17(2)	F/S(A), G(A)
33. Forest Engineering (Two Centres) (G + F/S)	Dept. of Forestry	A.17(3)	×
34. Crops Development for Ethanol Industry (Eq + Fe)	Dept. of Agriculture		回答不能
35. Integrated Agriculture Development in North Thailand (EX, F/S)	MOAC	A.73	EX(D), F/S(×)
36. Establishment of fresh water fishery station		A.80	×
37. Senior Experts on Agricultural Development (EX)		A.81	× or B
38. Mechanization in Reforestation (Pa)	Dept. of Forestry	A.17(1)	A

B. Transport and Communication

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. (1) Replacement of Mass Transit System Expert (Ex) (2) Extension of Construction Expert (Ex)	Express Transit Authority of Thailand (ETA)	B. 6	A
2. (1) Suburban Mass Transit System in Bangkok (Ex)	ETA	B. 7	A
(2) Phase 2: Feasibility Study (F/S)	Dept. of Town and Country Planning	B.12	C
3. Elevated Railway Track in Metropolitan Area (F/S)	ETA	B.25	C
4. Urban Expressway Management and Planning (Ex) Accounting for Tolloed Expressway	ETA	B.31	[END]
5. Instalation Expert (Ex : 2)	Communications Authority of Thailand (CAT)	B.36	D
6. Experts Services to the Telephone Organization of Thailand	TOT		
(1) Economic Development Project of TOT (1977-1984) Package II (Ex)			
(2) Digital Network Planning (Ex)			
(3) Electronic Switching System (Ex)			
(4) Digital Transmission (Ex)			
(5) Computer Software (Ex)			
(6) Traffic Measurement and Engineering (Ex)			
(7) Customer Service - Customer (Extension)			
(8) Economic Study (Ex)			

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
(9) Long Distance Transmission (Extension) (Ex)			
7. F/S on the Establishment of a Large Repair Shipyard in Thailand (Ex or F/S)	Board of Investment (BOI)	B.37	C
8. F/S on the Second Stage Expressway System in the Greater Bangkok (F/S)	ETA	B.38	B
9. Road Development Study in the Northeastern Region (F/S)	Dept. of Highways (DOH)	B.39	B
10. Extension of the services of Mr. Torigoe or his replacement for one year (Ex : 1)	State Railway of Thailand (SRT)	B.41	A
11. Traffic Engineering (Ex : 1)	DOH	B.42	C
12. (1) Road Material & Soil Foundation (Ex : 2) Research (short - term)	DOH	B.43	A
(2) Road Material & Soil Foundation (Ex : 1) Research (long - term)			A
13. Traffic Safety Study (F/S)	DOH	B.44	D
14. Radio Frequency Management & Monitoring (Ex / F/S)	PTD	B.45	D

C. Power & Public Utilities

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. Provincial Water Works Improvement Programme (Ex)	Provincial Water Works Authority (PWWA)	C. 9	A
2. Establishment of Metropolitan Water Works Training Centre (Ex)	Metropolitan Water Works Authority	C.13	A
3. MEA's Distribution Transformer Load Management Project (F/S)	Metropolitan Electricity (MEA)	C.18	B
4. F/S of Ing Yom Nan Diversion (Stage II) (F/S)	EGAT	C.20	B
5. F/S of Geothermal Energy for Electricity Generation (F/S)	EGAT	C.21	A
6. F/S of Nam Yuam Hydro Electric (F/S)	NEA	C.22	A
7. F/S of Nam Kham Hydro Electric (F/S)	NEA	C.23	C
8. Rural Groundwater Resources Exploration (G : Eq) and Development of Northern Thailand	Dept. of Mineral Resources	C.24	x
9. Loei - Upper Pasak Multipurpose (Power Component) (F/S)	EGAT	C.25	C
10. Well Drilling Project (Ex)	Dept. of Public Works		x

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
11. Expert in Electric Power System (Ex : 1)	Provincial Electricity Authority (PEA)		A
12. Services of two Experts in (Ex : 2) (1) Civil Engineering (2) Geology	EGAT		A
13. Petroleum Engineering (Ex) (Natural Gas Utilization)	NEA	C.19	C
14. Administration of Water Supply Pipes	MWWA	C.15	A
15. Sewerage System in BMA	BMA	C.8(2)	A
16. Planning and Administration on Solid Waste	BMA	C.8(3)	D

D. Social And Rural Development

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. Youth Welfare Centre (Administration Experts)(Ex : 2)	BMA	D. 4	A
2. Socialwork Training Programme (Ex : 1)	Dept. of Public Welfare	D. 8	A
3. Water Quality Control (Ex : 1)	NEB	D. 9	D
4. Air/Pollution Institute Management (Ex)	NEB	D.10	D
5. City Planning (Land Use Planning) (Ex)	Dept. of Town and Country Planning	D.15	A
6. F/S of Saraburi Field Irrigation (F/S)			回答不能
7. ACOSHIT Product for the Office of Accelerated Rural Development (Eq)	The Office of Accelerated Development		回答不能

E. Education & University

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. Advisor on Stratigraphy and Petrology of Sedimentary Rocks (Ex)	Prince Songkla University	E.10	A
2. Sukhotai Thammathirat Open University (G)	Office of University Affairs	E.13	x
3. Livestock and Aquaculture Research and Development in Northeast of Thailand (Ex + Eq)	Khon Kaen University	E.18	Ex(B), Eq(x)
4. Japanese Study Programme (Ex - Eq)	Thammasat University	E.19	Ex(C), Eq(x)
5. Establishment and Operation of a Computer Service Centre (Ex + G)	Khon Kaen University	E.20	Ex(D), G(x)
6. Staff Development Programme of the Teacher Training Institution (Ex + Eq)	Dept. of Teacher Education	E.21	Ex(A), Eq(x)
7. The Sukhothai Historical Park Development (Pa)	Dept. of Fine Arts	E.22	D
8. New Building of Sri Sangwal School (G + F/S + Eq + Furniture)	Ministry of Education	E.23	x
9. Japanese Study Centre (G + F/S)	Thammasat University	E.24	x

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
10. Development of Facilities and Capabilities of Thailand Institute of Scientific and Technological Research (G / F/S / Eq)	TISTR	E.25	x
11. Remote Censing (Ex : 3)	National Research Council (NRC)	E.26	D
12. Establishment of Environmental Engineering Department (Ex / Fe)	Chiang Mai University	D.13	A
13. Setting up of a Language Sound Lab (Ga / Eq)	Kasetsart University		回答不能
14. Strengthening Production Facilities of Radio Correspondence (GA / Eq)	Dept. of Non formal Education		回答不能
15. Programming Experts (Ex. 2)	Chiang Mai Univ.	E.15(2)	A

F. Public Health

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. Communicable Disease Control (Ex / Eq or Pa)	Ministry of Public Health	F.16	Ex(A), Eq or Pa(x)
2. Cancer Prevention and Control (Ex / Eq)	Dept. of Medical Service	F.18	Ex(A), Eq(x)
3. Expansion of Facilities for Radiation Therapy in Northern Thailand (G : Eq)	Chiang Mai University	F.19	x
4. Tropical Nephrology (G : Eq)	Chulalongkorn University	F.20	x
5. (1) Establishment of the Institute for Public Health Research (G / Eq) (2) Project type Cooperation (P)	Dept. of Medical Science	F.21	B
6. Rural Health Development (Ex / Eq)	Khon Kaen University	F.22	E
7. Construction of Regional Mother and Child Health Centre Region 8 (Upper South) (G / F/S)	Dept. of Health	F.23	x
8. Nutrition Improvement Programme (EX)	Ministry of Public Health	F.12	A
9. Ambulance Cars for the Crown Princes Hospital in 1981 (Eq)	Min. of Public Health	F.13	E

G. Industry & Commerce

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
1. East Coast Industry Relocation and Development (Ex)	Dept. of Industry	G. 2	D
2. Industrialization in Non Metropolitan Area INA Project (Ex / F/S)	Ministry of Industry	G.21	F/S(B), Ex(D)
3. Additional Refinery Capacity for Thailand (F/S)	NEA	G.25	D
4. Study on Development of Metalworking Industries in Thailand (F/S)	Dept. of Industrial Promotion	G.26	A
5. Integrated Steel Mill (F/S)	The Office of National Committee on Iron and Steel Industry Development	G.28	C
6. National Accounting System (Ex / Fe)	NESDB	G.29	C
7. F/S on Oil Shale Development Project in Mae Sod and Molybdenite in the East (F/S)	Dept. of Mineral Resources	G.30	D
8. Equipment for Bamboo Furniture Processing (Eq)	Dept. of Industrial Promotion	G.19(2)	A
9. Improvement of Raw Sugar Quality and Production Efficiency (Ex)	The Sugar Institute (Ministry of Industry)		回答不能

Project Title	Implementing Agency	Remark	Indicator
10. Rock Salt and Soda Ash (ASEAN-Project) (F/S)	Min. of Industry	G.32	B
11. National Exports Training Institute (G)	Dept. of Commercial Relation.	G.33	x
12. Fermentation Technology (EX)	TISTA	G.31	A

(6) バングラデシュ

① プロジェクト方式技術協力概要表（バングラデシュ）

プロジェクト方式

1. 概況									
国名:	タイ	プロジェクト番号:	予算区分:	セ, 医, 人, 産					
プロジェクト名	(和文) 園芸研究協力 (英文) Citrus and Vegetable Research Project								
協力期間 (協定・R/D)	3年(昭和52年11月3日～昭和55年11月2日) (延長) 3年(昭和55年11月3日～昭和58年11月2日)								
相手国協力機関	(和文) 農業省農業技術研究所 (英文) Bangladesh Agricultural Research Institute (BARI)								
プロジェクト住所	Joydepur, Dacca, Bangladesh (Dacca より 30 km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 長期4名(リーダー, 果樹, 野菜, 業務調整)								
2. 実績									
年	プロジェクト	調査			機材 金額	専門家 人数		研修員 人数	
		年/月	区	金額		長期	短期		
51	8,666	51/2 51/8	事前調査 実施調査	千円 3,463	千円 2,073	人 0	人 2	千円 3,130	0人
52	36,635	52/9	実施設計調査	13,339	17,605	0	0	5,691	0
53	154,544	53/9	計画打合チーム	2,044	90,658	3	2	61,842	6
54	76,835	54/12	巡回指導チーム	208	28,613	1	1	48,014	4
55	110,022	55/5 55/10	エバリュエーション	7,542	56,115	2	4	46,365	3
小計	386,702				26,596	195,064	6	9	165,042
3. 計画									
56	84,293	56/10	計画打合せ	(2,464)	36,000	1	5	48,293	3

技術協力概要表

担当部課 農開部畜産開発課 (56・5・7 作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的 柑橘改良及び野菜種子増殖事業の現状と問題点の把握と改善策立案を目的とする。	
(2) 事業計画 ① 柑橘及び野菜の高収量性・耐病性品種の研究 ② 野菜種子生産及び貯蔵に関する技術の開発 ③ 上記に関する情報の収集及び研究成果の交換 ④ サブセンターにおける, 柑橘, 野菜に関する現地適応性試験	
(3) 現状 柑橘部門の研究は, すでに着手されているが野菜部門の研究はようやく着手されたばかりであり, 機材の引き取りが遅延(最高1年程度)し, 特にサブセンターについての機材資材が不足している。以上の観点から研究計画課題を修正し, 1980年11月3日より3ヶ年R/Dが延長された。	
5. 問題点 ① 供与機材が荷揚港到着後現地到着までに極めて長期間を要する。(バ国負担経費予算及び事務処理体制による) ② プロジェクト開始当初の事業計画が実情に充分マッチしていなかったため, R/D期間内に目標到達ができなかった。R/D延長時, 計画, 目標の修正を行ったが全体的に研究手法の基礎的技術移転に重点をおくこととした。 ③ サブセンターの充実が必要であるが, ローカルコスト等の関係から困難である。	
6. 関連事業 無償協力 1億3千万円 昭和50年度 本館, 温室, 網室 モデルインフラ 1,500万円 ほ場, 農道, かんがい整備 応急対策費 2,300万円 倉庫	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) 野菜……品種導入, 選抜育成試験, 採種のための栽培改善試験 柑橘……バ国における柑橘栽培の実態調査, 地域適応性試験, 繁殖法試験, 耐病性品種の選抜	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: バングラデッシュ		プロジェクト番号:			予算区分: セ, 医, 人, 産				
プロジェクト名	(和文) 農業普及計画 (英文) Central Extension Resources Development Institute Project								
協力期間 (協定・R/D)	3.5年(昭和50年8月14日～昭和53年10月12日) (延長) 5年(昭和53年10月13日～昭和58年10月12日)								
相手国協力機関	(和文) 農林省 (英文) Ministry of Agriculture and Forestry								
プロジェクト住所	Central Extension Resources Development Institute, Joydepur, Dacca, Bangladesh. () より km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 8名 (団長, 栽培, 普及, 農業機械, 機械工学, 業務調整) 短期 2名								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門家 人数		研修員 人数	
		年/月	区分	金額		長期	短期		
～50	千円 175,664		計画打合 巡回指導	千円 18,680	千円 81,559	5人	0	千円 75,425	人 0
51	132,714		巡回指導	2,929	66,892	6	0	62,893	2
52	311,438	52/11	機材維持	2,536	218,147	3	1	90,755	2
53	171,918	53/12	計画打合せ	4,286	71,699	0	6	95,983	5
54	174,784	54/11	巡回指導	2,428	52,955	5	4	119,401	5
55	233,260 (84,523)	55/10	〃	7,162	74,852	1	10	116,723	1
小計	1,199,778			37,971	566,104	20	21	561,180	15
3. 計画									
56	(163,514)	56/11	巡回指導	2,911	30,000	7	6	130,603	3

技術協力概要表

担当部課 農業部農技協課 (56・5・8作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的 農業生産の増大及び農民の生活水準の向上を図るため, 農業技術の普及体制の整備の一環として中央農業普及技術開発研究所を設立し, 必要な技術指導を行う。	
(2) 事業計画 ① 内外の改良農業技術の収集・分析 ② 農業普及のための技術の開発 ③ 普及方法及び普及資材の開発 ④ 訓練及び指導 ⑤ 情報の提供	
(3) 現状 53年10月の協定締結後本格協力に入ったが, 基幹となる機材の整備はほぼ終了し, 各事業計画が軌道に乗りつつある。特に農機具については適正技術開発の予算がつき, クワ, カマなど日・バの協力で開発を進めている。普及方法及び普及資材の開発事業も相当の前進をみた。	
5. 問題点 バ国が負担すべきプロジェクト運営のローカルコストが人件費を除き大幅に不足している。現状では日本側のローカルコスト負担に頼っているが将来独自で運営していくとなるとこのままでよいはずがない。	
6. 関連事業 一般無償(51年度) 中央農業普及技術開発研究所 700百万円 〃 (52年度) 同上附属施設 180	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画) 適正技術開発研究費による適正農具の開発供与 普及員養成所(12カ所)における普及実験の開始	

プロジェクト方式

1. 概況									
国名: バングラデシュ		プロジェクト番号:		予算区分: セ, 医, 人, 農, 産					
プロジェクト名	(和文) 家族計画 (英文) Family Planning Project								
協力期間	5年(昭和51年3月29日 ~ 昭和56年3月28日)								
(協定・R/D)	(延長) 4年(昭和56年3月29日 ~ 昭和60年3月28日)								
相手国協力機関	(和文) 保健・人口抑制省, 人口抑制・家族計画部 (英文) Population Control & Family Planning Division, Ministry of Health and Population Control								
プロジェクト住所	Dacca-Narayanganj-Demura (DND) (ダッカより14 km)								
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 2名 (母子保健<産婦人科医師×1名> 家族計画<看護婦×1名>)								
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材		専門家		研修員 人数
		年/月	区 分	金額	金額	人数	金額		
~50	千円 7,211			千円 7,211	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
51	50,912	—	—	118	49,110	0	1	1,684	0
52	87,786	52/7	計画打合せ	1,978	72,502	2	3	13,306	1
53	84,098	—	—	0	62,974	3	2	21,324	1
54	101,289	—	—	0	87,015	2	0	14,274	0
55	101,422	55/12	エバリュエーション	2,179	86,241	1	0	13,002	2
小計	432,718			11,486	357,642	9	6	63,590	4
3. 計画									
56	135,631	—	—	0	92,337	0	2	43,294	2

技術協力概要表

担当部課 医協部医協課		(56・4・27作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)			
<p>※ 現行R/Dに基づき, ダッカ近郊のDND地域をモデル地域として, (1)地域住民に対する啓蒙, 教育・広報活動, (2)フィールド・ワーカーに対する教育訓練活動, (3)母子保健活動を統合したかたちにおいて, 家族計画の普及を図るべく協力を行っている。 ※ Dacca-Narayanganj-Demura 地域の略</p>			
5. 問題点			
<p>(1) 供与機材の引取に時間がかかると同時に, 課税されるため, 保健・人口抑制省としては支払が困難 (2) 供与機材の有効利用に疑問あり。</p>			
6. 関連事業			
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)			
<p>(1) 専門家(調整員)派遣 (2) 中堅技術者養成計画実施 (3) 機材供与の一環としてのDND病院内に医師・看護婦宿舎の建設 (4) カウンターパート2名の受入</p>			

プロジェクト方式

1. 概 況										
国 名	バングラデシュ		プロジェクト番号				予算区分	セ, (8), 人, 農, 産		
プロジェクト名	(和 文) 循環器病対策プロジェクト (英 文) Cardiovascular Diseases Control									
協 力 期 間	5年(昭和54年2月22日 ~ 昭和59年2月21日)									
(協定・R/D)	(延長) 年(昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日)									
相手国協力機関	(和 文) 国立循環器病研究所 (英 文) Institute of Cardiovascular Diseases									
プロジェクト住所	Sher - E - Bangla Nagar, Dacca () より () km)									
赴任中専門家 (分野別人員)	総数 4名 (心臓内科1, 心臓外科1, 臨床検査1, 放射線1)									
2. 実 績										
年 度	プロジェクト 総 経 費	調 査			機 材		専 門 家			研修員 人 数
		年/月	区 分	金額 千円	金額 千円	人 数		金額 千円		
						長期	短期			
53	3,160	54/2	実施協議	2,599	0	0	1	561	0	
54	10,627	-	-	346	8,966	0	2	1,315	5	
55	3,717	56/3	計画打合せ	3,104	0	0	1	613	4	
小計	17,504			6,049	8,966	0	4	2,489	9	
3. 計 画										
56	44,063	-	-	0	20,000	0	16	24,063	4	

技術協力概要表

担当部課		医療協力課		(56・4・27作成)	
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)					
(1) 目 的					
バングラデシュにまん延しているリウマチ性心臓病の予防, 虚血性心疾患, リウマチ性心疾患及び先天性心疾患の診断と治療並びに心疾患の疫学的研究について協力を行い, 国立循環器病研究所の機能の強化を図る。					
(2) 事業計画及び現状					
56年4月末に左記の構成による専門家を3カ月間派遣したのが, 本プロジェクトに対する実質的な協力開始であり, 今次チームと次期(引続き同構成により3カ月間専門家の派遣を計画している)チームの派遣により, 分野別の協力目標を作成すると共に, 無償資金協力により供与した医療機器が使いこなせるよう指導する。					
5. 問 題 点					
6. 関 連 事 業					
医療機器購入のため, 昭和54年度700,000千円の無償資金協力を実施した。					
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)					

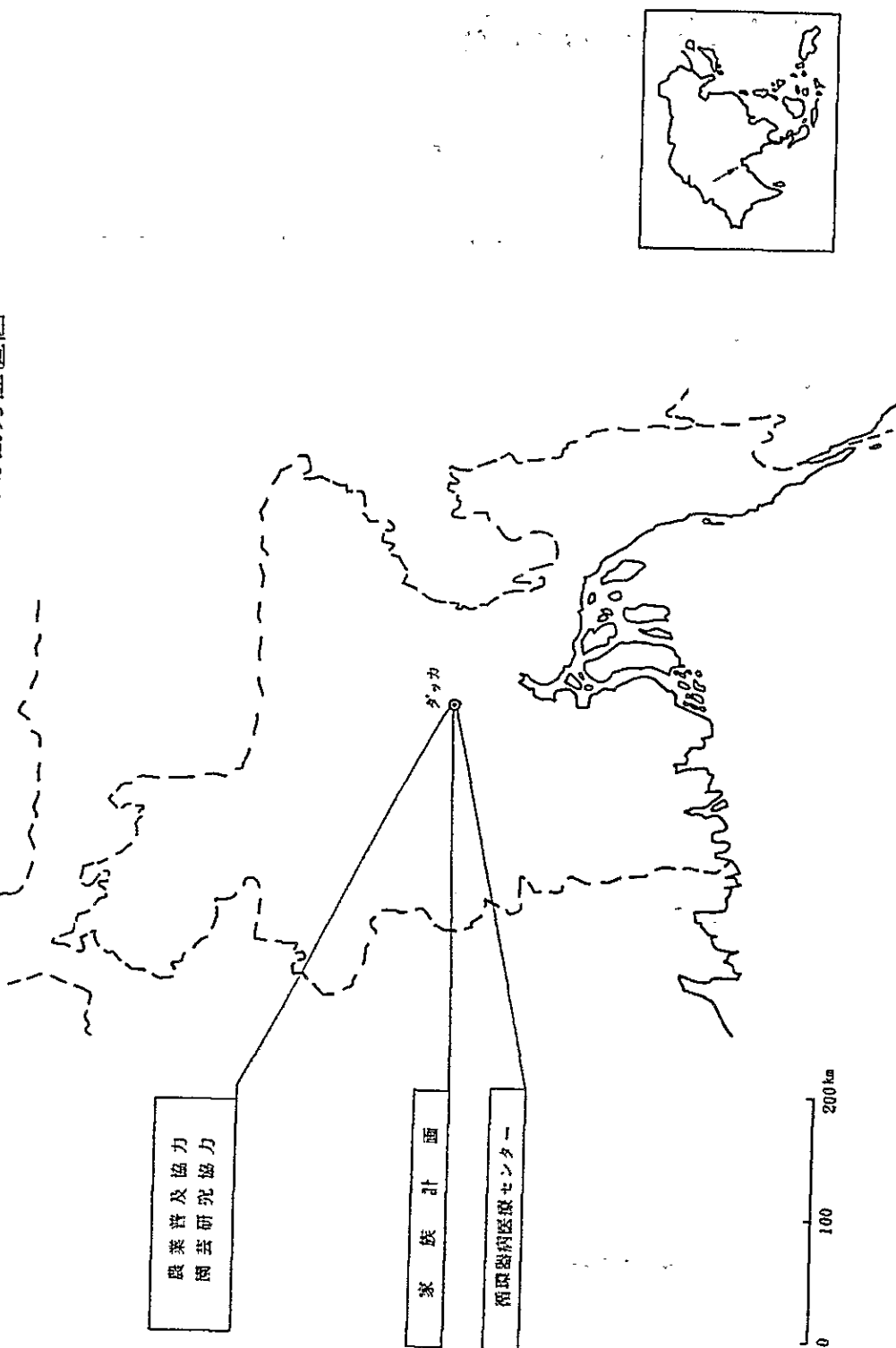
プロジェクト方式

1. 概況									
国名: バングラデシュ		プロジェクト番号:			予算区分: セ, ②, 人, 農, 産				
プロジェクト名		(和文) 失明対策プロジェクト(予定) (英文) 未定							
協力期間 (協定・R/D)		3年(昭和56年月日～昭和59年月日) (延長) 年(昭和年月日～昭和年月日)							
相手国協力機関		(和文) 眼科学研究所 (英文) Institute of Ophthalmology							
プロジェクト住所		(より km)							
赴任中専門家 (分野別人員)									
2. 実績									
年 度	プロジェクト 総経費	調査			機材 金額	専門 家 人数		研 修 員 人数	
		年/月	区 分	金額		長期	短期		金額
55	千円 2,091	56/2	事前調査	千円 2,091	千円 0	人 0	人 0	千円 0	人 0
小計	2,091			2,091	0	0	0	0	0
3. 計画									
56			実施協議		30,000				0

技術協力概要表

担当部課 医療協力課	(56・4・27作成)
4. プロジェクトの内容(目的, 事業計画, 現状)	
(1) 目的 「国際障害者年」であることに鑑み「バ」国の児童の失明防止及び治療技術の向上に資することを目的としている。 なお本プロジェクトは、UNICEF が既に実施している事業との相互関連を考慮しつつ、日本・UNICEF が相互の事業を補完していわゆるマルチ・バイ方式により協力の効果を高めようとするものである。	
(2) 事業計画 専門家派遣・研修員受入・機材供与により眼科専門医のレベルアップを図るとともに、地方一般医の眼科部門の再教育を実施させるため、中堅技術者養成対策費にて支援する。また医療技術者に対する眼科教育の実施及び失明者のリハビリテーション活動への協力、児童失明予防対策への支援をする。	
5. 問題点 協力の基本文書は、日本・バングラデシュとのR/Dに基づくものとするが、このR/DにUNICEF との協力関係をいかに明らかにしていくべきか検討事項となっている。	
6. 関連事業	
7. 昭和56年度計画(重点事業計画)	

バン格拉デシュ：プロジェクト方式技術協力位置図



JICA